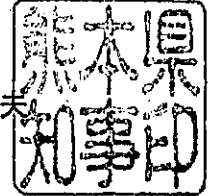


医政第742号
平成26年10月27日

厚生労働大臣 塩崎 恭久 様

熊本県知事 蒲島 郁夫



地域医療再生基金管理運営要領に基づく平成25年度事業実施状況報告
について

- | | |
|----------------------------------|------|
| 1 基金保管・運用実績 | 別紙1 |
| 2 基金事業実施状況（熊本県地域医療再生計画） | |
| （1）交付要綱第4の別表の地域（天草医療圏） | |
| （ア）事業実施報告 | 別紙2 |
| （イ）地域医療再生計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価 | 別紙3 |
| （2）交付要綱第4の別表の地域（阿蘇医療圏） | |
| （ア）事業実施報告 | 別紙4 |
| （イ）地域医療再生計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価 | 別紙5 |
| （3）交付要綱第4の別表の地域（全県版） | |
| （ア）事業実施報告 | 別紙6 |
| （イ）地域医療再生計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価 | 別紙7 |
| （4）交付要綱第4の別表の地域（H25策定版） | |
| （ア）事業実施報告 | 別紙8 |
| （イ）地域医療再生計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価 | 別紙9 |
| 3 添付書類 | |
| （1）当該年度歳入歳出決算（見込）書抄本 | 別紙10 |
| （2）目標達成シート | 別紙11 |
| （3）その他参考となる書類 | 別紙12 |

1 基金保管実績

基金の保有区分	年度当初保管額 (A)	年度内異動額 (B)	年度末保管額 (A - B)
	円	円	円
熊本県地域医療再生基金造成 (天草・阿蘇編)	2,433,224,643		
熊本県地域医療再生基金造成 (全県版)	1,272,474,280		
熊本県地域医療再生基金造成 (H25策定版)	0	▲ 974,271,000	
基金運用利息等		▲ 10,088,988	
基金取崩し		2,999,833,378	
合計額	3,705,698,923	2,015,473,390	1,690,225,533

2 基金運用実績

基金の保有区分	利息額	差益額
	円	円
現金預金	8,037,387	2,051,601
合計額	8,037,387	2,051,601

3 基金事業実施状況（熊本県地域医療再生計画）

(1) 交付要綱第4の別表の地域（天草医療圏）

(ア) 事業実施報告

地域医療再生計画	事業者名(施設名等(開設者名を含む))	25年度実施事業内容	25年度実施 予定額	25年度実事業費			
				都道府県助成額	再生基金充当額	事業者負担額	
①当該地域における事業							
天草地域医療圏連携体制検討事業	熊本県	○天草地域医療再生推進会議を開催し、地域医療再生計画（天草編）の推進と医師確保対策並びに医療提供体制について協議 ○天草地域において、地域医療連携システムの説明会を開催（7月）	562,000	94,586	0	94,586	0
遠隔医療システム導入費補助	天草保健医療圏の病院及び診療所	○天草医療圏における遠隔画像診断システム及び地域医療連携システムの整備に対する助成 ・河浦病院、天草中央総合病院、天草地域健診センターの機器整備に対する助成 ・天草地域医療センター等と地域医療連携を行う天草地域の病院及び診療所の機器整備に対する助成（41者）	56,287,000	56,124,000	0	56,124,000	0
上天草総合病院診療体制整備事業	上天草総合病院	○上天草総合病院の電子カルテシステム整備への助成 ・業務の効率化による勤務医の負担軽減、及び教員木診療所との患者情報の共有による診療支援体制の強化を図った。	166,526,000	166,526,000	0	166,526,000	0
②都道府県単位の事業							
専門医派遣寄附講座開設事業	熊本県 熊本大学医学部附属病院	熊本大学医学部附属病院から18名の常勤医師を地域の12病院に派遣し、地域医療を支援した。	140,000,000	140,000,000	0	140,000,000	0
総合医育成寄附講座開設事業	熊本県 熊本大学医学部附属病院	熊本大学医学部附属病院に設置する寄附講座から週1回程度6医療機関に医師派遣し地域医療を支援した。	20,000,000	40,000,000	10,000,000	20,000,000	10,000,000
総合医確保対策補助事業	熊本県 基幹型臨床研修病院	医師確保が困難な地域の病院では、専門的な分野だけではなく幅広い診療能力を備えた「総合医」の需要が高まっているため、総合医養成プログラム作成病院において総合医研修を実施（熊本赤十字病院：受講者7名）	52,262,000	51,834,831	0	51,834,831	0
熊本県医師修学資金貸与制度拡充事業	熊本県 熊本大学医学部附属病院	地域医療に従事する医師を確保するため、指定医療機関に勤務することを返還免除の要件とした「熊本県医師修学資金貸与事業」を実施 ・平成25年度新規貸与者：地域枠5名、一般枠4名 ・貸与者計 5年生 4名、4年生 5名、3年生 6名 2年生 9名、1年生 9名 計33名	30,126,000	30,126,000		30,126,000	0
臨床研修医確保強化事業	熊本県 熊本大学医学部附属病院 基幹型臨床研修病院	○臨床研修医確保対策を実施 ・熊本県臨床研修病院連絡協議会を開催（6月） ・臨床研修病院合同説明会への参加（9月、3月：福岡県） ・臨床研修病院の情報を集約したパンフレット及び広報用グッズ等を作成し、臨床研修病院合同説明会等で医学生に配布 ・指導医講習会を実施（8月：受講者43名） ○熊本大学が臨床医学教育研究センターにおいて行う次の事業に対して助成 ・若手医師等のスキルアップ ・医学生への地域医療に関する教育 ・効果的な地域医療教育カリキュラム策定に関する研究	9,655,000	7,809,326	318,541	7,490,785	0

3 基金事業実施状況（熊本県地域医療再生計画）

(1) 交付要綱第4の別表の地域（天草医療圏）

(ア) 事業実施報告

地域医療再生計画	事業者名(施設名等(開設者名を含む))	25年度実施事業内容	25年度実施 予定額	25年度実事業費			
				都道府県助成額	再生基金充当額	事業者負担額	
糖尿病医療スタッフ養成支援事業	熊本県 熊本大学医学部附属病院	熊本大学医学部附属病院に人材育成及び関係者のネットワーク構築のためコーディネーター(特任助教)1名を配置 【人材育成】 ・糖尿病専門医養成事業実施(症例検討会3回実施・専門医資格取得のための研修会開催のための会議1回実施)【糖尿病専門医:H22年度73名→H26年3月89名】 ・糖尿病療養指導士養成事業実施(勉強会6回、症例検討会1回、試験直前ゼミ3回、講習会1回等実施) 【糖尿病療養指導士H22年度405名→H26年3月475名】 ・「熊本県糖尿病対策推進会議」主催の糖尿病連携医実務者研修会に協力 【糖尿病保健医療連携ネットワーク構築】 ・保健所が事務局の「各圏域糖尿病保健医療連絡会議」との共催で7圏域で「糖尿病予防研修会」を開催 ・糖尿病地域連携バス「DM熊友バス」、「軽症糖尿病及び境界型の取り扱い基本指針(熊本県版)の周知啓発 【啓発や食環境整備】 ・糖尿病予防や診療に関する啓発活動の実施 世界糖尿病デー関連イベント、啓発チラシ作成及び配布、熊本県糖尿病医療スタッフ養成支援事業のホームページの更新・運用 ・熊本県栄養士会と連携したブルーサークルメニュー(600Kcal未満、塩分3g未満)の提供体制整備	9,100,000	9,100,000	0	9,100,000	0
移植医療推進支援事業	熊本大学医学部附属病院	○移植時の適合性を判断する検査(HLA検査)体制を整備 ・検査機器等の整備(検査試薬等) ・学会、研修会に検査技師を5名派遣 ○移植医療機関のネットワーク構築 ・移植医療推進ネットワーク協議会を2月に開催 ・市民公開講座を開催(参加者約170名:7月) ○医療従事者に対する移植医療推進啓発 ・県内医療機関関係者を対象とした臓器提供シミュレーションを2月に開催 ○人材育成 ・各種学会や先進医療機関へ医師等を派遣(計10名)	15,646,000	15,646,000	0	15,646,000	0
地域連携クリティカルバス支援事業	熊本県 熊本大学医学部附属病院	熊本県「私のカルテ」がん診療センターを熊大病院に開設し、熊本県がん診療連携協議会と連携しながら、県内における、バスの普及と定着を図った ・がん診療連携拠点病院や医師会等に対する普及啓発(研修会や会議の場を活用) ・がん診療連携拠点病院に対する個別のバス導入支援(連携先医療機関への説明含む) ・市民向けの普及啓発(市民公開講座を開催(熊本市、八代市)) ・がん診療連携拠点病院のバス担当職員による連絡会議を開催 ・平成25年度バス新規適用件数 641件 ※平成22年3月からの累計件数 2,007件	21,953,000	21,929,250	0	21,929,250	0

3 基金事業実施状況（熊本県地域医療再生計画）

(1) 交付要綱第4の別表の地域（天草医療圏）

(ア) 事業実施報告

地域医療再生計画	事業者名(施設名等(開設者名を含む))	25年度実施事業内容	25年度実施 予定額	25年度実事業費			
				都道府県助成額	再生基金充当額	事業者負担額	
看護師等養力強化事業	看護師等養成所	看護師等養成所に対する助成(10か所) ・教育環境の整備 ・教育の質の向上(専任教員の臨床実習研修等) ・長期養成研修支援(受講料及び代替職員補助)	28,908,000	28,419,860	0	28,419,860	0
専門性の高い看護職員の養成支援事業	病院	認定看護師の資格取得に必要な経費の一部を助成(12病院:15人)	6,724,000	18,596,962	0	6,713,203	11,883,759
看護職員の継続教育体制の拠点整備	熊本県	○看護職員の継続教育体制整備事業を実施(熊本県立大学へ委託) ・継続教育体制整備に関する検討会を開催 ・県内10圏域において、教育プログラムの検討、実施等 ・情報収集によるホームページ等の整備及びホームページ活用状況の把握 ○看護職員の継続教育機材整備事業を実施 ・フィジカルアセスメント研修のための機材整備に対する助成(3圏域)	24,781,000	27,778,302	0	23,709,108	4,069,194
中小病院における看護職員確保対策支援事業	熊本県	○看護職員確保に係る事業を実施(看護協会へ委託) ・相談窓口設置 ・看護職員確保対策推進会議の開催 ・魅力ある病院づくり支援(10病院) ・潜在看護職員の調査及び研修 (熊本市開催分35名受講、天草開催分7名受講、有明開催分6名受講) ○病院内保育所に対する支援 ・病院内保育所の環境整備に対する助成(13か所) ・新設病院内保育所の初度設備整備に対する助成(2か所) ・病院内保育所の運営に対する助成(4か所) ○就労サポート事業 (1)看護学生・潜在看護職員・Uターン看護職員を対象とした情報提供、広報活動の実施 ①啓発媒体を作成し、学校養成所、医療機関等配付 学生向け:DVD(150本)、小冊子(8,800部)、ポスター(150枚) 潜在看護職員向けナースセンターの啓発媒体:ポスター(2,600部)、チラシ(10,500部) ②メディアを通じた広報 TVCMの放映(100本)、既存番組内で放送(15分程度) (2)熊本県ナースセンターのホームページの充実 熊本県ナースセンター単独のホームページを作成	55,700,000	111,330,751	0	51,048,148	60,282,603
在宅歯科診療医支援事業	歯科診療所	在宅歯科診療に必要な設備整備に対する助成 ・整備機器:ポータブル歯科ユニット(1か所)	289,000	578,000	289,000	289,000	
医薬品等安全性情報等の提供	熊本県薬剤師会	天草保健医療圏における医薬品等情報提供体制整備等に対する助成 ・既存の「お薬手帳」に高機能カバーを付け、患者情報(血圧管理記録、保険証、受診票等)を一元管理し、地域の医療関係者間で情報を共有	4,657,000	4,949,180		4,657,000	292,180

3 基金事業実施状況（熊本県地域医療再生計画）

(1) 交付要綱第4の別表の地域（天草医療圏）

(ア) 事業実施報告

地域医療再生計画	事業者名(施設名等(開設者名を含む))	25年度実施事業内容	25年度実施 予定額	25年度実事業費			
				都道府県助成額	再生基金充当額	事業者負担額	
県医師確保対策事業の拡充	熊本県	○医療対策協議会を開催し、熊本県地域医療再生計画の医師確保各事業実施に係る進捗管理を含め、地域における医療機関の連携体制等の総合的な医師確保対策の推進について協議（5月、11月） ○地域医療研修連絡調整部会を開催し、研修希望医師の研修先病院を決定（7月、2月）	7,241,000	2,854,728	0	2,854,728	0
キャリア支援センター設置事業	熊本県 熊本市医師会	○女性医師キャリア支援センターの運営（熊本市医師会へ委託） ・ホームページの運営 アクセス数 4,293件 掲載内容：復職支援、職業継続支援、保育支援、 介護支援に関する情報 ・女性医師等からの相談対応 来所5件 電話96件 メール1件 ・講演会託児利用 医師利用者77名（利用児128名） ・運営会議2回 ・各種会報への事業掲載	4,712,000	2,824,633	0	2,824,633	0
			655,127,000	736,522,409	10,607,541	639,387,132	86,527,736

3 基金事業実施状況（熊本県地域医療再生計画）

(1) 交付要綱第4の別表の地域（天草医療圏）

(イ) 地域医療再生計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価

- 専門医派遣寄付講座開設事業は、公立病院等へ19名の専門医を派遣。
- 総合医育成寄付講座開設事業は、
 - ・ 寄付講座から代診医の派遣。
 - ・ 自治医科大学学生及び熊本大学学生への地域医療研修を実施。
- 熊本県医師修学資金制度拡充事業は、基金により設置した県修学資金（地域枠）を5名に貸与。（利用率100%）
- 臨床研修医確保強化事業は、
 - ・ 県内の臨床研修医を確保するために、熊本県臨床研修病院連絡協議会で福岡県の説明会に合同で参加。
 - ・ 臨床研修指導医の育成を熊本大学に委託し、43名の指導医を育成。
 - ・ 熊本県臨床研修病院パンフレット及び広報用グッズの作成。
- 糖尿病専門医養成事業は、
 - ・ 糖尿病専門医養成事業及び糖尿病療養指導士の養成事業を実施し、糖尿病専門医数が89名、糖尿病療養指導士が475名に増加。
 - ・ 熊本県糖尿病対策推進会議との共催による「糖尿病連携医」スキルアップ研修会を開催。
- 移植医療推進支援事業は、
 - ・ 新規登録者及びドナー発生時のHLA検査に対応できる体制を整備。
 - ・ 県内医療機関連携強化のための協議会及び市民公開講座を開催。
 - ・ 各種学会や先進医療機関等へ医師10名を派遣。
- 地域連携クリティカルパス支援事業は、天草医療圏を含む全県的な地域連携クリティカルパスの普及活動を実施。
(H25年4月～H26年3月のがん患者へのパス導入件数 641件)
- 看護師等養力強化事業は、13名の専任教員の養成講習会への参加及び10養成所の教育環境の整備を実施。
- 専門性の高い看護職員の養成支援事業は、15名の認定看護師受講者に対して受講費を助成。
- 看護職員の継続教育体制の拠点整備は、看護職員継続教育整備検討委会、10圏域での教育プログラムの研修、CPDプログラム研修を実施。また、研修情報ホームページを開設。さらに、研修機材を3圏域に整備。
- 中小病院における看護職員確保対策支援事業は、10病院の看護職員確保のためのワークライフバランスに対する取組の支援及び潜在看護職員を対象とした再就業支援研修会を開催するとともに、病院内保育所について、12ヶ所の環境整備、4ヶ所の運営費、新設2ヶ所の初度設備整備に対し、補助を実施。また、看護職員確保のため、看護学生及び潜在看護職員向けに広報啓発を実施（DVD、小冊子、ポスター、TVCMの放映等）。さらに、ナースセンターのホームページのリニューアルを実施。
- 在宅歯科診療医支援事業は、1か所の在宅歯科に対して歯科診療用機器整備の補助を実施。
- 熊本県地域医療再生計画の医師確保各事業実施に係る進捗管理を含め総合的な医師確保対策を協議するため熊本県医療対策協議会を開催。
(5月、11月)
- 県医師確保対策事業の拡充は、ドクターバンクによる医師の就業斡旋とPRための広報活動の実施、並びに熊本県医療対策協議会を開催。
- キャリア支援センター設置事業は、女性医師キャリア支援センターを委託して運営し、ホームページでの情報発信や保育支援等を実施。
- 天草医療圏連携体制検討事業では地域医療連携システムの説明会を開催。
- 天草医療圏における遠隔画像診断システム及び地域医療連携システムの整備に対して補助を実施。

3 基金事業実施状況（熊本県地域医療再生計画）

(2) 交付要綱第4の別表の地域（阿蘇医療圏）

(ア) 事業実施報告

地域医療再生計画	事業者名(施設名等 (開設者名を含む))	25年度実施事業内容	25年度事業 予定額	25年度実事業費		
				都道府県助成額	再生基金充当額	事業者負担額
①当該地域における事業						
阿蘇中央病院の救急医療機能の整備	阿蘇中央病院	○病院本体の整備に対する助成 ・平成25年1月：本體工事着工 (鉄筋コンクリート一部4階建：延床面積11,336㎡) ○救急医療機器の整備に対する助成	966,842,000	966,842,000		966,842,000
公立病院救急医療機能整備事業	小国公立病院	救急医療機器の整備に対する助成	70,192,000	70,192,000		70,192,000
病診連携推進事業	熊本県 阿蘇中央病院	○県主催による連絡会議等を実施 ・阿蘇地域医療再生推進会議を開催(8月・3月) ・地区別作業部会(2部会：阿蘇中部・小国)を開催 ○地域の医療機関の連携を推進する取組みに対する助成	1,466,000	1,271,019		1,271,019
休日・夜間等初期救急支援事業	阿蘇郡市医師会	○阿蘇郡市医師会による休日・夜間の初期救急医療体制の強化の取組みに対する助成 ・初期救急に係る研修会(2回)及び初期救急センター運営に関する検討会(11回)に対する助成 ・初期救急センターの運営(2か所、延べ100日)に係る人件費等に対する助成 ○初期救急に必要な医療機器の整備に対する助成	9,103,000	8,292,000		8,292,000
脳卒中等地域連携クリティカルパス(地域版)の作成・運用	熊本県医師会	○県医師会(委託先)及び熊本大学医学部附属病院リハビリテーション部による検討会議を開催(4月) ○阿蘇地域の回復期医療機関等による「阿蘇地域脳卒中地域連携クリティカルパス導入に関する検討会議」を開催(8月、10月、2月、3月) ○阿蘇圏域の医療機関と熊本市内の急性期医療機関との連携会議を開催(12月) ○阿蘇地域の脳卒中回復期医療機関(9か所)に必要なリハビリテーション機能強化のための機器整備に対する助成	64,000,000	64,122,916		64,122,916
訪問看護推進事業	阿蘇郡市医師会 訪問看護ステーション	○遠隔地訪問を行う訪問看護ステーションの運営に係る人件費等への助成(4か所) ○訪問看護推進のための研修会及び推進委員会を実施(委託)	8,437,000	6,829,565		6,829,565
地域住民との連携に係る取組み	圏域内市町村	阿蘇市が事業主体となり、地域医療に関する啓発を目的とした「住民フォーラム」を開催(4会場：5月、8月、2月)	300,000	175,000		175,000
医療連携パス研修・医療従事者研修事業	熊本県	熊本県地域リハビリテーション広域支援センター協議会の事務局である県医師会に委託(5月)し、コメディカルを対象とした研修会を支援(6月、7月、10月、12月、2月、3月)	1,800,000	1,148,485		1,148,485
小児医療体制の整備	小国公立病院	小国公立病院の小児科常勤医の学会等への参加経費及び代診医確保への助成	600,000	300,000		300,000

3 基金事業実施状況（熊本県地域医療再生計画）

(1) 交付要綱第4の別表の地域（阿蘇医療圏）

(ア) 事業実施報告

地域医療再生計画	事業者名(施設名等 (開設者名を含む))	25年度実施事業内容	25年度事業 予定額	25年度実事業費		
				都道府県助成額	再生基金充当額	事業者負担額
適正な受診に関する啓発	熊本県	○子どもの急病やケガの対処法、時間外受診のあり方等に関する保護者等に向けた講習会を開催(12~2月)(阿蘇市) ○阿蘇地域において、脳卒中・急性心筋梗塞予防と併せて啓発事業を実施(1~3月)	3,200,000	2,359,600		2,359,600
圏域内周産期医療体制の構築	阿蘇温泉病院 熊本県	○地域産科中核病院である阿蘇温泉病院の医師・看護師等の周産期間連の研修費及び産科医療機能強化のための機器整備に対する助成 ○熊本市民病院において阿蘇圏域及び隣接圏域の救急隊を対象とした新生児蘇生法講習会を実施(12月)	5,868,000	5,646,000		5,646,000
高度医療を要する周産期医療体制の整備	熊本大学 熊本県	○重症心身障がい学童附講座の実施 ・重症心身障がい学童附講座シリーズセミナーを開催(7~1月) ・重症心身障がい児の在宅移行に関する検討会を実施(9月) ○重症心身障がい児在宅医療支援事業の実施 ・重症心身障がい児在宅医療を進めるための小児訪問看護研修をNPO法人NEXTSTEPに委託(5月) ・医療、訪問看護関係者や保護者が活用する医療情報共有サイトの開発・作成を熊本大学に委託(11月) ○総合周産期母子医療センター(熊本市民病院)が行う新生児用救急車用の高度周産期医療機器の整備に対する助成	36,073,000	34,569,601		34,569,601
遠隔医療システムの整備	阿蘇中央病院 小国公立病院	阿蘇中央病院の遠隔読影依頼システム機器整備に対する助成	18,000,000	9,922,000		9,922,000
地域救急医療支援体制の構築	救命救急センター、 消防機関、熊本県等	○ヘリ救急搬送体制の運用 ○県ヘリ救急搬送運航調整委員会(3月)、運航調整検討部会(8月、10月、1月)及び症例検討部会(5月、8月、11月、2月)を開催 ○救命救急センター(3か所)に設置される救急ワークステーションの機器整備に対する助成	338,035,000	404,350,555	77,993,000	326,357,555
脳卒中・急性心筋梗塞医療推進事業	熊本大学 熊本県	○熊本大学医学部附属病院に脳卒中・急性冠症候群医療連携寄附講座を設置し、阿蘇地域の医療状況の調査及び医師派遣を実施(常勤1名、非常勤3名) ○県脳卒中医療推進検討会議を開催(9月) ○県急性心筋梗塞医療推進検討会議を開催(10月) ○阿蘇地域等において、脳卒中・急性心筋梗塞の救急時の対応や予防に関する啓発(TVコマーシャル等)を実施(1~3月)	45,885,000	44,483,122		44,483,122
救急医療情報システムの整備	熊本県	検索機能の向上など、システム改修を実施	22,000,000	38,972,000	17,536,000	21,436,000

3 基金事業実施状況（熊本県地域医療再生計画）

(1) 交付要綱第 4 の別表の地域（阿蘇医療圏）

(ア) 事業実施報告

地域医療再生計画	事業者名(施設名等 (開設者名を含む))	25年度実施事業内容	25年度事業 予定額	25年度実事業費		
				都道府県助成額	再生基金充当額	事業者負担額
県境地域の救急医療体制整備	熊本県	県境地域の救急医療体制について、県と関係病院とで協議(9月、11月)	100,000	19,285		19,285
②都道府県単位の事業						
脳卒中・急性心筋梗塞医療 推進事業（再掲）	熊本大学 熊本県	<ul style="list-style-type: none"> ○熊本大学医学部附属病院に脳卒中・急性冠症候群医療連携寄附講座を設置し、阿蘇地域の医療状況の調査及び医師派遣を実施（常勤1名、非常勤3名） ○県脳卒中医療推進検討会議を開催（9月） ○県急性心筋梗塞医療推進検討会議を開催（10月） ○阿蘇地域等において、脳卒中・急性心筋梗塞の救急時の対応や予防に関する啓発（TVコマーシャル等）を実施(1~3月) 				
県境地域の救急医療体制整備 （再掲）	熊本県	県境地域の救急医療体制について、県と関係病院とで協議(9月、11月)				
			1,591,901,000	1,659,495,148	95,529,000	1,563,966,148
						0

3 基金事業実施状況（熊本県地域医療再生計画）

(2) 交付要綱第4の別表の地域（阿蘇医療圏）

(イ) 地域医療再生計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価

- 阿蘇中央病院の救急医療機能の整備は、地域の中核病院として機能強化するための施設整備（病院本体建替え工事）に着手。（平成26年6月竣工予定）
- 小国公立病院の救急医療機能の整備は、地域の中核病院として機能強化するための救急医療機器(CT、MRI)を整備。
- 病診連携推進事業は、阿蘇医療圏での取組みについて進捗管理を行う阿蘇地域医療再生推進会議を開催(2回)し、圏域内の課題等の共有や各事業の推進方策等について協議を実施。また、阿蘇中央病院主催による地域の連携及び救急医療の啓発に関する講演会を開催(2回)。
- 休日・夜間等初期救急支援事業は、阿蘇郡市医師会主催による地域の医師を対象とした専門的な初期救急医療に関する研修会を開催(2回)。地域開業医の協力による夜間急患センターの運営(通年)。
- 脳卒中等地域連携クリティカルパス(地域版)策定事業は、阿蘇地域の回復期医療機関等による阿蘇地域リハビリテーション等連絡会を開催し、阿蘇地域版パスの試行版を作成し、試行版を使ったパスの運用を開始。
- 訪問看護推進事業は、啓発も含め訪問看護師の確保や定着支援の人的費等の補助を実施(4か所)。訪問看護推進委員会開催(7回)、介護をしている地域住民等を対象とした訪問看護研修会を開催(7回)。訪問看護の普及啓発のパンフレットを作成・配布。
- 地域住民との連携に係る取組みは、阿蘇市(阿蘇中央病院)主催による住民を対象としたフォーラムを開催し、医療の受け手側への啓発を実施(4会場)。
- 医療連携パス研修事業及び医療従事者研修事業は、コメディカルを対象とした研修会を支援。
- 小児医療体制の整備は、小国公立病院小児科医の研修機会確保事業を実施し、小児科医(1人体制)の学会参加等を支援。
- 適正な受診に関する啓発は、時間外受診のあり方等に関する保護者等に向けた講習会を開催、及び小児救急ガイドブック・阿蘇版を作成、配布。
- 圏域内周産期医療体制の構築は、救急関係者向け新生児蘇生法講習会を開催。また、阿蘇温泉病院(地域産科中核病院)の周産期関連の研修費を支援。
- 高度医療を要する周産期医療体制の整備は、熊本大学医学部附属病院に重症心身障がい学寄附講座を設置(H22～H25年度 4年間)し、医療従事者向けのセミナーや医療的ケアが必要な超重心児在宅訪問調査を実施。
- 遠隔医療システムの整備は、阿蘇中央病院における遠隔読影依頼システムを整備し、放射線読影医や各診療科の専門医の欠員に対応できる仕組みを構築。
- 地域救急医療支援体制の構築は、
 - ・ ドクターヘリと防災消防ヘリが連携したヘリ救急搬送体制を運用。
 - ・ 地域の救急医療を支援する体制として、救急車がリアルタイムで心電図や画像等を救命救急センター等に転送するシステム導入の可能性について関係者間で協議を実施。
 - ・ 救急ワークステーションの設備整備補助を実施。
- 脳卒中・急性心筋梗塞医療推進事業は、脳卒中・急性冠症候群医療連携寄附講座を熊本大学に開設。また、脳卒中・心筋梗塞予防キャンペーンを展開。
- 県境地域の救急医療体制整備は、そよう病院(山都町)及び小国公立病院と県境地域の救急医療体制について協議を実施。

3 基金事業実施状況（熊本県地域医療再生計画）

(1) 交付要綱第4の別表の地域（全県版）

(ア) 事業実施報告

地域医療再生計画	事業者名(施設名等(開設者名を含む))	25年度実施事業内容	25年度実施 予定額	25年度実事業費		
				都道府県助成額	再生基金充当額	事業者負担額
②都道府県単位の事業						
医療資源調査事業	熊本県	○県内全市町村の平成23～24年度における、国民健康保険団体連合請求レセプトデータ及び後期高齢者医療広域連合請求レセプトデータ等から、5疾病、5事業及び在宅医療についての受療動向等を市町村及び医療圏ごとに解析（自治医科大学へ委託） ○県内の医療機関及び訪問看護ステーションに対して、在宅医療に関する取組状況等の実態を把握するため、アンケート調査を実施	27,292,000	21,995,326		21,995,326
地域医療の周知及び適正受診等の啓発	熊本県	○かかりつけ医、適正受診及び在宅医療について、テレビ、ラジオ等を活用し、広報活動を実施 （テレビ：ミニ番組20本・特集番組1本・CM300本等、ラジオ：ミニ番組26本・特集番組1本・生放送12本・CM300本等） ○企業の担当者会議を開催（情報共有）（7月） ○予防推進員を養成（1人） ○がん検診受診促進啓発資料等を作成 ○連携企業と協働したがん検診受診促進啓発セミナーを開催（11月） ○協定制度から登録制へ移行 ○地域振興局単位でのがん検診受診促進事業を実施	34,951,000	31,114,255		31,114,255
薬剤耐性菌感染防止事業	熊本大学	○耐性菌感染情報の収集・解析・配信システムの稼働（24件の申し込みがあり、現在13施設参加） ○耐性菌の遺伝子解析実施に向けた体制整備 ○個人向けの教育支援（HPアクセス件数：14,488件、DVD・資料の作成、教育物品の貸し出し1件、電話での相談件数：43件） ○保健師用の講義、病院ラウンド（検査）等のプログラム作成 ○地域連携の充実を図るため先進地を視察（アメリカ合衆国 フロリダ州 APIC2013年次教育集会、南フロリダ州バプテスト病院） ○感染管理認定看護師の育成支援 看護師 5名（養成コースにおける研修費用、認定審査に係る費用の助成）、臨床検査技師 1名、薬剤師 2名 ○感染管理既認定者（看護師、医師、臨床検査技師、薬剤師）の認定更新審査のための助成 看護師 3名、臨床検査技師 1名 ○感染管理既認定者（看護師、医師、臨床検査技師、薬剤師）の更新審査のための研修受講の助成 看護師 15名、臨床検査技師1名、薬剤師 1名	21,300,000	18,261,000		18,261,000
救急医療体制の整備事業	熊本県 救命救急センター 阿蘇広域行政事務組合 消防本部	○地域の中核的な救急医療機関に必要な医療機器整備への助成 ○救命救急センターが行うドクターカー整備への助成	159,119,000	176,736,000	19,143,000	157,593,000
こどもの発育発達支援事業	熊本大学 熊本市民病院	NICU入院児に早期に理学療法等を行い、発育発達を向上させるため、総合周産期母子医療センターに理学療法士(PT)1名を配置し、専門的研修受講費用を助成	6,471,000	3,948,000		3,948,000

3 基金事業実施状況（熊本県地域医療再生計画）

(1) 交付要綱第4の別表の地域（全県版）

(ア) 事業実施報告

地域医療再生計画	事業者名(施設名等(開設者名を含む))	25年度実施事業内容	25年度実施 予定額	25年度実事業費		
				都道府県助成額	再生基金充当額	事業者負担額
早産予防対策事業	熊本県	○産科医療機関における産分泌物細菌検査及び予防的介入の実施(12月まで 14,785人) ○産科医療機関における歯周病検診及び指導の実施(12月まで 延べ 8,781人) ○介入結果の取りまとめ及び分析	69,090,000	66,180,539		66,180,539
新生児蘇生法講習会インストラクター養成事業	熊本県	○日本周産期・新生児医学会認定の新生児蘇生法講習会インストラクターを各周産期医療圏に養成するため、同学会主催養成講習会への医師等派遣及び事前講習会等の事業を委託(熊本県産婦人科医学会) ○講習会派遣候補者(産科小児科医、助産師、看護師)を対象とした事前講習会の実施(5月、7月、11月) ○長野県他1県で開催の講習会への参加(8月:2名、9月:10名、11月:1名、3月:2名)	1,930,000	1,785,000		1,785,000
周産期医療機能強化事業	熊本大学医学部附属病院 熊本市民病院 福田病院 他13施設	7病院が整備する高度な周産期医療機器整備に対する助成 総合周産期母子医療センター(2病院) 地域周産期母子医療センター(2病院) 地域産科中核病院(2病院) 地域産科中核の役割を担う産科病院(1病院)	13,860,000	108,521,000		108,521,000
熊本障がい児(者)摂食リハビリテーション整備事業	熊本大学	○講習会を7回(6月~2月)開催し、延741名が受講(委託先:熊本大学) ○産科医療機関における摂食・嚥下リハビリテーションに係る機器整備に対する助成(5病院) ○障がい児(者)の歯科治療機器整備に対する助成(2病院)	23,902,000	21,057,715		21,057,715
災害拠点病院研修体制強化事業	熊本県 災害拠点病院	○災害拠点病院主催の研修・訓練を2病院(熊本赤十字病院、国保水保市立総合医療センター)が実施 ○国主催の「災害医療従事者研修」に2つの災害拠点病院(山鹿市民医療センター、人吉医療センター)が参加	7,089,000	4,084,129		4,084,129
災害拠点病院・DMAT資機材等整備事業	災害拠点病院 DMAT指定病院 熊本県	○災害拠点病院が行う医療資機材の整備に対する助成 ・衛星携帯・エアテント等(13病院) ・広域医療搬送体制の整備(SCU資機材の整備) ・簡易ベッド・エアテント等	105,066,000	152,596,181		90,952,181 61,644,000
脳卒中地域連携システムの構築	公益社団法人脳卒中協会熊本県支部	○脳卒中地域連携システムの構築に資する、患者向け「脳卒中ノート(確定版)」の作成・配布を行う公益社団法人日本脳卒中協会熊本県支部に対する助成 ○脳卒中ノート企画会議の開催 ○県医師会などの関係機関への説明・意見聴取	6,510,000	6,510,000		6,510,000

3 基金事業実施状況（熊本県地域医療再生計画）

(1) 交付要綱第4の別表の地域（全県版）

(ア) 事業実施報告

地域医療再生計画	事業者名(施設名等(開設者名を含む))	25年度実施事業内容	25年度実施 予定額	25年度実事業費			
				都道府県助成額	再生基金充当額	事業者負担額	
がん連携拠点病院の病理診断機能支援事業	熊本大学	実務を通じて行う教育訓練による病理医及び細胞検査士の育成、及び県内のがん診療拠点病院等との遠隔病理診断システムを構築 (熊本大学医学部附属病院) ・細胞検査士を目指す検査技師3名を継続雇用 ・病理専門医を目指す医師を1名雇用 ・遠隔病理診断システム(受入側)を整備 ・遠隔病理診断システム(依頼側)を整備 (天草中央総合病院、阿蘇中央病院(※)) (※)平成26年7月に整備完了予定(繰越)	46,290,000	46,290,000		46,290,000	
移植医療にかかる体制整備等支援事業	臓器提供施設(医療機関)	臓器提供者の増加に対応した、移植医療に関わる医療機関の体制整備を支援 ・脳死判定のための専用機器等(ポータブル脳波計等)を整備(天草地域医療センター) ・脳死判定専門医等の育成のための各種学会等への参加や臓器提供シミュレーションの実施(2月)	10,950,000	22,142,090		10,950,000	11,192,090
アミロイドーシス診療体制構築事業	熊本大学	アミロイドーシス診療に係る熊本大学医学部附属病院と他の医療機関との連携体制の構築 ・県内全域のアミロイドーシス診療の充実を目的とした連携病院の拡充 ・熊本大学医学部附属病院に特任教授1名及び特任助教2名を配置 ・「熊本県アミロイドーシス診療連携推進協議会」の開催(6月、9月)及び医師の学会への参画の勧奨 ・連携先病院への医師派遣によるアミロイドーシス診断支援(2医療機関) ・病院のホームページ上の専用サイトを通じた連携先病院からの診療依頼への対応(397件) ・連携先病院におけるアミロイドーシス疾患の診断に係る実技研修の実施 ・医療従事者向けの実技講習会の開催(12月、5施設合同) ・市民公開講座の開催(9月)	40,833,000	40,833,000		40,833,000	
「熊本モデル」認知症患者医療機能強化事業	熊本大学	○MRIやSPECTなど高度先進機器を用いた画像診断法や専門的な神経心理学的検査技能を2年間で習得する認知症専門医等養成コースを設置し、専任指導医の教材を整備 ○専門医や専門スタッフ養成研修(7,11,12月)及び講座を実施(12月) ○H24,25年度の2か年で認知症専門医5名、認知症医療等に習熟した専門スタッフ(精神保健福祉士、臨床心理士等)4名を養成 ○専門スタッフを活用した認知症の早期発見・早期対応の取組みの推進 ○認知症初期集中支援チーム事業に取り組む県内自治体への支援や初期集中支援チームに関する研修会等を開催(H26.2,3月)	35,900,000	35,900,000		35,900,000	

3 基金事業実施状況（熊本県地域医療再生計画）

(1) 交付要綱第4の別表の地域（全県版）

(ア) 事業実施報告

地域医療再生計画	事業者名(施設名等(開設者名を含む))	25年度実施事業内容	25年度実施 予定額	25年度実事業費			
				都道府県助成額	再生基金充当額	事業者負担額	
在宅医療提供体制整備における訪問看護師資源育成事業	九州看護福祉大学 県看護協会 熊本県	<ul style="list-style-type: none"> ○人吉、天草地域をモデル地域とした訪問看護ステーションの運営に対する助成(15か所) <ul style="list-style-type: none"> ・看護師、事務員の人件費や研修費等 ・訪問看護提供体制整備のための訪問車等の購入費用 ○小規模の訪問看護ステーションの運営に対する助成(15か所) <ul style="list-style-type: none"> ・看護師、事務員の人件費や研修費等 ・訪問看護提供体制整備のための訪問車等の購入費用 ○訪問看護ステーションの管理者を対象とした研修を実施(熊本県看護協会へ委託) ○訪問看護師の育成研修(九州看護福祉大学へ委託) ○訪問看護ステーションサポートセンターの運営(熊本県看護協会へ助成等) ○訪問看護に関する普及啓発用映像媒体の製作(熊本県看護協会へ委託) 	77,718,000	76,130,544	67,241,334	8,889,210	
			688,271,000	834,084,779	19,143,000	733,216,479	81,725,300

3 基金事業実施状況（熊本県地域医療再生計画）

(3) 交付要綱第4の別表の地域（全県版）

(イ) 地域医療再生計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価

- 国民健康保険団体連合会請求レセプトデータ及び後期高齢者医療広域連合請求レセプトデータ（平成23,24年度）から5疾病について市町村、圏域毎の受療動向の分析を実施。
- かかりつけ医、適正受診及び在宅医療について、テレビやラジオを活用した広報啓発を実施。また、パンフレットを作成し、県内医療機関等に配布するなどの広報展開を実施。
- 薬剤耐性菌感染防止事業は、「熊本県感染管理ネットワーク」を設立し、耐性菌感染情報の収集・解析・配信システムの開発及び耐性菌の遺伝子解析に向けた体制を整備するとともに、感染対策を担う専門医療職者（医師、看護師、臨床検査技師及び薬剤師）の育成を支援。
- 地域の中核的な救急医療機関が整備する医療機器に対する補助を実施（16病院）。
- 救命救急センターが整備するドクターカーに対する補助を実施（2病院）。
- こどもの発育発達支援事業は、総合周産期母子医療センター（熊本市市民病院、熊本大学医学部附属病院）に理学療法士を各々1名配置し、11名の児の在宅移行を支援
- 熊本型早産予防対策事業は、妊娠中期の早産予防対策として県内妊婦を対象に、産科医療機関における膣分泌物細菌検査及び予防的介入（14,785人）、歯科 医療機関における歯周病検診及び指導（延べ8,781人）、市町村における受診票の交付及び生活指導を実施
- 新生児蘇生法講習会インストラクター養成事業は、インストラクター講習会派遣候補者（産科小児科医師、助産師、看護師）を対象とした事前講習会を開催し、44名が受講。また、インストラクター講習会を15名が受講。
- 周産期医療機能強化事業は、地域産科中核病院等が整備する周産期医療機器に対する補助を実施（7病院）。
- 障がい児（者）摂食・嚥下リハビリテーションの人材育成のための講習会を6回開催するとともに、機能評価診断のための機器整備及び歯科医療機器整備を行い、摂食・嚥下機能評価の環境整備を実施。
- 災害拠点病院研修体制強化等事業は、国主催の災害医療従事者研修への参加経費を助成（山鹿市民医療センター、人吉総合病院、10人）
- 災害拠点病院・DMAT資機材等整備事業は、災害拠点病院等に対する医療資機材の整備（衛星携帯電話・携帯型超音波診断装置等）に対する補助を実施（13病院）。
- 広域医療搬送体制の整備のためSCU資機材（簡易ベッド、エア TENT等）を整備。
- 脳卒中地域連携システムの構築事業は、「脳卒中ノート」を作成し、医療機関等の関係機関を通じて、患者や家族に対し、配布を開始。
- がん診療連携拠点病院等病理診断機能支援事業は、熊本大学医学部附属病院において病理専門医を目指す医師1名及び細胞検査士を目指す臨床検査技師3名を雇用、県内の遠隔地にある天草中央病院、阿蘇中央病院において遠隔病理診断システム整備を実施。
- 移植医療にかかる体制整備等支援事業は、3医療機関（熊本大学医学部附属病院、国立熊本医療センター、熊本赤十字病院）に対して、脳死判定のための専用機器等の整備に関する費用、人材育成に要する費用の助成
- アミロイドーシス診療体制構築事業は、熊本大学医学部附属病院を中心とした「熊本県アミロイドーシス診療連携推進協議会」の開催（2回）や医療関係者向けの実技講習会（5施設合同、1回）、市民講座（1回）を実施。また、連携先病院（2医療機関）への医師派遣によるアミロイドーシス診断支援や年間397件のアミロイドーシス診断依頼に対応
- 認知症専門医3名、認知症医療に習熟した精神保健福祉士1名及び臨床心理士1名を養成
- 在宅医療提供体制整備における訪問看護師資源育成事業は、人吉、天草地域をモデル地域とした訪問看護ステーションの運営に対する助成（15か所）、小規模の訪問看護ステーションの運営に対する助成（15か所）、退院支援ナース養成研修（36名受講）、訪問看護ステーション管理者研修（39名受講）、訪問看護師スキルアップ研修（67名受講）及び訪問看護師養成研修（63名受講）を実施

3 基金事業実施状況（熊本県地域医療再生計画）

(1) 交付要綱第4の別表の地域（H25策定版）

(ア) 事業実施報告

地域医療再生計画	事業者名(施設名等(開設者名を含む))	25年度実施事業内容	25年度実施 予定額	25年度実事業費			
				都道府県助成額	再生基金充当額	事業者負担額	
②都道府県単位の事業							
地域医療支援センター事業	熊本県	熊本県地域医療支援機構（地域医療支援センター）の設置（12月） ・同機構理事会（12月、3月）、評議員会議の開催（3月） ・同機構設立記念シンポジウムの開催（2月） ・同機構に係る周知広報（周知用チラシの作成）	3,000,000	514,063	514,063		
在宅医療連携推進事業	地域医師会等	医療と介護の連携を担う在宅医療連携拠点の運営費に対する助成 10圏域で実施（11地域医師会、2市） ・多職種連携会議、研修会、地域資源マップ作成、地域住民への普及啓発等を実施	19,107,000	15,243,000	15,243,000		
訪問看護ステーション等立上げ支援事業	法人又は保健医療機関（病院及び診療所） 熊本県	訪問看護サービスの提供体制が不十分な条件不利地域等において、新たに訪問看護サービスを立ち上げる事業所に対して、立上げまでに必要な初期費用や立ち上げ後の運営費を助成（6事業所）	23,679,000	18,024,556	18,024,556		
在宅小児レスパイトケア支援事業	診療所等	在宅医療を行う、小児疾患のレスパイトケアを担う診療所等が行う施設改修工事、設備整備等への助成	9,200,000	18,294,000	9,147,000	9,147,000	
在宅医療提供拠点薬局整備事業	熊本県薬剤師会 熊本県	○地域拠点薬局（きくち薬局、天草東町調剤薬局）に対する無菌調剤室整備補助及び無菌製剤に係る知識及び技能の普及を図るための実技研修を開催 ○無菌調剤室やクリーンベンチを持たない薬局でも、無菌製剤処理が必要な処方箋を応需できるように、その共同利用の推進	12,400,000	23,160,165	12,400,000	10,760,165	
災害医療連携体制構築事業	熊本県医師会、熊本県歯科医師会、熊本県看護協会、 熊本県薬剤師会等 熊本県	○県全体の災害医療提供体制の構築に向けた検討を行うため「県災害医療提供体制検討委員会」を開催（11月、2月） ○職能団体等が主催する災害医療に関する研修等に対する助成（熊本県医師会、熊本県歯科医師会、熊本県看護協会）	1,166,000	1,232,916	1,066,000	166,916	
脳卒中急性期医療体制整備事業	熊本大学 脳卒中急性期拠点病院	○熊本大学医学部附属病院が実施する遠隔画像診断支援システムを使用した急性期医療体制構築に対する助成 ○遠隔画像診断支援システムを導入する病院への必要な機器整備に対する助成（6病院）	8,460,000	7,438,000	6,869,000	569,000	
			77,012,000	83,906,700	0	63,263,619	20,643,081

3 基金事業実施状況（熊本県地域医療再生計画）

(3) 交付要綱第4の別表の地域（H25策定版）

(イ) 地域医療再生計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価

- 地域で医師を育てる仕組みや地域と熊本市内の医療機関を医師が循環して勤務できるシステムづくりを目指し、熊本県地域医療支援機構を設立。
- 在宅医療の推進に向けて、医療、介護、行政等多職種連携を担う在宅医療連携拠点事業を10圏域13団体（11地域医師会、2市）で実施。
- 訪問看護サービスの提供体制が不十分な条件不利地域で、6事業所が新たに訪問看護サービスを立ち上げた。
- 在宅小児レスパイトケア支援事業者、小児在宅患者に係るレスパイトケアを担う1施設の施設整備（おがた小児科・内科医院）、及び4施設の設備整備（くまもと芦北療育医療センター、くまもと江津湖療育医療センター、はまゆう療育園、おがた小児科・内科医院）に係る経費の補助を実施
- 在宅医療提供拠点薬局整備事業は、
 - ・ 地域拠点薬局（きくち薬局、天草東町調剤薬局）に無菌調剤室を整備。
 - ・ 無菌調剤に係る知識及び技能の普及を図るための研修会を実施。
- 災害救援薬剤師養成研修事業は、熊本県薬剤師会に対し、災害薬事コーディネーターを養成するための研修会（44人受講）に関する費用等を助成
- 災害医療研修強化事業は、県と大規模災害時の医療救護に関する協定を締結している団体が主催する研修開催経費に対する補助を実施（熊本県医師会、熊本県歯科医師会、熊本県看護協会）
- 平成26年7月から脳卒中遠隔医療診断支援システムの運用を開始（6医療機関）